

第31回 災害対策ワーキンググループ会議 議事録

日時：令和元年10月2日（木）20：45～20：55

場所：前橋市民文化会館 4階会議室

出席：山根、齋藤

欠席：大谷、岸和田、宮崎

○関東臨床工学技士協議会主催の情報伝達訓練報告書の見直しは10月6日（日）までとする。その後、神奈川県岡田氏へ送る予定。

○埼玉県との会合について

非公式な意見交換会を9月19日（木）に開催。さいたま日赤の雨宮医師、鏑田技士、猿木医師、山根技士の4名。千葉県での災害直後のため、近隣県として何が出来るのか何をすべきなのか意見交換。

○災害時の透析医療確保に関する広域連携会議について

日程調整が完了した。10月15日（火）さいたま日赤となった。猿木医師と山根技士が参加。

○県主催の災害時透析医療対策WGについて

11月7日（木）に県庁へ行く。数名であれば参加可能なので、当日行けそうなメンバーには行ってもらう。現時点では山根、齋藤は参加可能。何時に行くべきか医務課担当者へ確認する。患者移送訓練については西片貝からわかば病院へ患者を搬送する予定。実際に患者さんをお願いするため、移送中の事故に関する保険関係の確認もしている。詳細は県がシナリオを作るので、ギリギリになりそう。

○第5回災害対策研究会について

3月26日（木）で決定。特別講演は福島県の援腎会鈴木一裕医師。一般演題は医務課の訓練報告。あと一つは共催会社の都合もあり、ESA製剤の講演が入ることになった。

○県内透析施設のMAPについて

昨年11月の訓練時、県内透析施設の場所が把握しにくかったので、地理的な配置がわかるように県内透析施設MAPを作れないか検討する。12万円とのこと。群馬県では必要性が無いので別のことを考えていきたい。（県の予算という方法もある）